

2015シーズンは
36都市で58大会を開催!
全国規模の大学生フットサル大会!!

AIDEM CUPは、各地域から勝ち上がっていく3段式の大会です。



詳細&大会レポートはHPへ!

アイデムカップ Search



<http://www.a-stadium.com/aidemcup/>

Twitter ▶ @a_stadium

Facebook ▶ facebook.com/aidemcup

[AIDEM CUP]とは...誰もが気軽に参加できるフットサルを通じて、大学生が交流できる場をつくりたい。そんな想いから、2012年にスタートした大会です。



FINAL

各セントラル優勝チームのみに
出場権が与えられる全国大会

セントラル

地区予選を突破したチームによる地域決勝大会
(北海道・東北・関東・東海・北信越・関西・中四国・九州・沖縄)

地区予選 全国各地で開催



大会レポート TOKYO SENDAI AOMORI NAGOYA

7月4日(土) 東京大会

初出場 初優勝の偉業達成



7月4日(土)『アイデムカップ 2015 フットサル大会 in 東京』が、フットサルステージ多摩(東京都多摩市)にて開催された。

秋の関東セントラル進出を目指して集まったのは、16チーム137名。

本大会でおなじみの強豪チームが順当に駒を進める中、初出場のニューフェイスが躍動し、アイデムカップに新風を吹き込んだ。優勝候補本命の『中央大学 ALPHARD』や『チーム牛鮭』を降し、決勝戦に進出したのは、共に初出場同士の『法政大学 ひじき』と『フレンズフレンズ』。細かくパスを繋ぐひじきに対し、フレンズフレンズはスピード感ある

カウンターを仕掛ける試合展開で、前半はスコアレスのまま終了した。そして後半開始早々、試合を動かしたのはひじき。#79豊田が右足アウトサイドでの技ありシュートで先制した。フレンズフレンズも最後まで同点ゴールを狙うも、ひじきが1点を守りきり、見事初出場&初優勝の戴冠に輝いた。

●優勝チーム 法政大学 ひじき 石橋 諒平

初出場で初優勝できたのは、めちゃくちゃ嬉しいです。ここまで来られた要因は、チームの結束力を活かしたパスワークですね! 今回のMVPを挙げるとするならば#79豊田です。なんといってもウチで一番のイケメンなんで。僕らのチームは基本サッカーを中心にやっています。フットサルの練習をするのは月一回なのですが、緩くやっているようでいて、締めるところは締めてやっているのが今回の結果に繋がったと思います。それとやっぱり豊田がイケメンなんで、優勝できました(笑)。関東セントラルに向けた秘策も用意してあるんですけど、これからフットサルの戦術もたくさん勉強して、もっとチームの実力を上げて次の大会に臨みたいですね。



7月11日(土) 仙台大会

同門対決! 勝利に輝いたのは...



7月11日(土)『アイデムカップ 2015 フットサル大会 in 仙台』が、フットメッセ名取(宮城県名取市)にて開催された。

今年で2回目となる仙台大会には16チームが集まり、北海道・東北セントラルの仙台代表となる最後の3枠を争うべく、激しい試合が繰り広げられた。

「フリーガークリニック」では、プロの選手から2対2での戦術など本格的なレクチャーを受け、新たなフットサルの楽しみを見つけたと話す学生たちも多かった。そんな盛り上がりを見せる今大会で、見事決勝に進んだのは『東北学院大学 CRAQUE B』と『東北学院大学 LIBERO A』。

東北学院大学チーム同士、プライドを賭けた熱い戦いは、終始 CRAQUE B がペースを握り、2点を連取。LIBERO A も数少ないチャンスを作ったが、結局得点までは奪えず、CRAQUE B が2チーム目の仙台大会王者となった。

●優勝チーム 東北学院大学 CRAQUE B 川村 直大

今回、僕たち『東北学院大学 CRAQUE B』は、AとBの2チームに分かれて出場しました。今までのアイデムカップより参加するメンバーを増やしたので、いつも以上に盛り上がることができました。実は、チーム振り分けも朝に決めての参戦だったのですが、日頃からのチームワークの良さで、2チームとも上位に入ることができてすごく嬉しいです。プレーするだけではなく、お互いのチームを心から応援し、自然にサポートしていくチーム力が僕たちにはあります。今日一日を通して、「このサークルに入って良かった」と全員が感じたと思います。北海道・東北セントラルでも、もちろん全勝優勝を狙い、一丸となって頑張りたいと思います。



初開催の青森で強豪発掘!!



7月12日(日)『アイデムカップ 2015 フットサル大会 in 青森』が、SAPPA-DO(青森県弘前市)にて開催された。アイデムカップ開催地としては本州最北の地、青森での初大会に合わせ、8チームが集まり盛り上がりを見せた。「フリーガークリニック」では、バルドラル浦安の小宮山選手と小倉選手が講師として登場。2対1、3対2の実戦形式を取り入れたトレーニングで熱血指導が行われた。小宮山選手は元日本代表キャプテンも務めた方ということもあり、質問ブースには引きも切らず学生たちが詰め掛けた。

そんな熱を帯びた今大会で、トーナメントを勝ち抜き決勝戦を迎えたのは、『弘前大学 アダストラム』と『弘前大学 TSUYOSHI』。この弘前大学同士の対決は、運動量と技術に勝るアダストラムがゲームを支配する形となり、得点を重ねてTSUYOSHIをシャットアウト。勝敗は2-0で、アダストラムが青森大会の初代王者に輝いた。

●優勝チーム 弘前大学 アダストラム 菅原 瑞希

優勝は素直に嬉しいです。僕達のチーム名は、ポルトガル語で「希望」という意味。細かいパス回しで、観ている人も楽しんでもらえるようなプレーを心がけています。全員が個々に長所を持ちつつ協調性もあるのがチームの特徴です。バランスが良くオールマイティーなところが、今回の勝利に繋がったと感じています。普段は社会人チームと練習しているのですが、同年代とは試合をする機会が少ないのですが、今回は同じ大学生とプレーできたので楽しめました! フリーガーの方から教えて頂ける機会も滅多にないので、良い経験になりました。北海道・東北セントラルに向けては、ディフェンス面を更に磨いていきたいと思ひます。勝ちにこだわり、優勝して帰ってきたいと思ひます!



名門チーム同士の対決に大注目



7月18日(土)『アイデムカップ 2015 フットサル大会 in 名古屋』が、稲沢フットサルスタジアム(愛知県稲沢市)にて開催された。今年2回目となる名古屋大会は、16チーム145名が集まった。

決勝進出は、昨年度の東海・北信越セントラルでベスト4の強豪『中京大学 Redorca FC』と、新進気鋭の『南山大学 マドンナ』。個の力で局面を打開していく Redorca FC に対し、マドンナは華麗なパスワークで相手を崩す対照的なスタイルで、序盤から見応えのある展開となった。2分過ぎ、Redorca FC の #9 利根川がロングボールを足元におさめると、素早い反転から意表を突くシュートで先制。そのまま勢いに乗り、右サイドから強烈なミドルシュートを決めて、相手を突き放す。

対するマドンナも、敵陣まで侵入するもシュートにまで繋げることができず、結局2-0のまま試合終了。Redorca FC が悲願の優勝を飾った。

●優勝チーム 中京大学 Redorca FC 牛江 俊貴

前回の大会では、決勝まであと少しの所で負けてしまったので、今回リベンジを果たして優勝することができ、本当に嬉しいです! 今日の MVP は、浜松開誠館高校出身の GK 中村僚我くんですね。彼の数々のスーパーセーブに救われました。また、中町くんのノリの良さ、水谷くんのスーパーテクニックも、僕らの強みだと思っています。『中京大学 Redorca FC』というチーム名の由来は、Red(赤い)+orca(シャチ)。今日はアウェイ用ユニフォームなので白を着ていますが、ホームユニフォームはもちろん赤です! 昨年は東海・北信越セントラルで敗退してしまっただけで、これから更にチームの力を磨き、今年こそは優勝して FINAL に行きたいと思ひます!!



会場で見つけた
フラワーガール
大会に花を添える彼女たち!

アオモリ ナゴヤ トウキョウ
センダイ センダイ ナゴヤ

教えて!フリーガー

PickUP Daomori

初開催! 青森大会ピックアップ編

ついに本州最北の地、青森県での初開催を果たしたアイデムカップ。参加大学生全員が初出場ということで、感想を聞いてみました!

普段は社会人や高校生と練習試合をしているのですが、今日はいろんな大学生と試合ができて楽しいです! 8チームも集まってコートは1面だから、休憩もできるし体力的にも丁度良いですね(笑)。あとはアイスクリームが配布されたら最高! **TSUYOSHI 森 倬秀**

他のチームの人に教えてもらい参加しました。予選リーグではあまり調子が出なかったのですが、フリーガークリニックで色々学んだあと、2連勝することができました! **1ジャグ 石川 玲**

Twitter のタイムライン上に出てきたので、無料だし面白そうだしと思い、メンバーを集めました。中には初心者の方もいて、今のところ勝っていないけれど、とても楽しいです! 他の参加者も優しい人ばかりで、大会の雰囲気があったかからだと思います。**Alignments 田中 啓太**

いつもはサークル内でわいわいゲームをしていたのですが、アイデムカップをきっかけに、もっと大会に出たいと思うようになりました! **フット猿 類家 祐太**

普段は参加費1万円くらいの大会に出ているので、アイデムカップは無料だし、年に2回はやってほしい! ドリンクがもらえるのも嬉しいです。 **エルクラード 米坂 俊哉**

各大会で人気の相談コーナーとクリニック。7月の講師は、【ベスカドーラ町田/横江選手、篠崎選手】【ヴォスコアレ山台/狩野選手、森選手】【バルドラル浦安/小宮山選手、小倉選手】【名古屋オーシャンズサテライト/若山監督と選手13名】

ここ最近の相談コーナーとクリニックでは「攻撃」に関する質問が多く、戦術を頭で理解してからクリニックで実践してみるという流れが作られつつあります。また、相談の後にはフリーガーとの記念撮影も定番化してきました。やはりどのチームも戦術面でアドバイスを受けることが多く、受講後に即効果が出てゴールを決めた試合もありました。

中村明宏の VIVA!じもと

今月は、初開催地の青森大会で教えてもらった「ねぶた祭り」と「ねぶた祭り」について紹介します。皆さんは、この2つの違いをご存じですか? 大きな違いは、山車の飾り。今回アイデムカップを開催した弘前市の「ねぶた」は、扇型の武者絵が主流なのですが、青森市の「ねぶた」は、日本や中国の歴史上の偉人や歌舞伎、神仏を題材とした人形型が一般的なのだそうです。そしてもう一つの特徴は、踊り手である「ハネト」の掛け声。弘前の「ヤードー」に対し、青森の「ラッセ・ラッセ」はあまりにも有名ですね。個人的にはこれまで「ねぶた」も「ねぶた」も地方によって言い方が違うだけで、同じ祭りの事かと思っていたんです。でも、中身が違ったんですね...これぞVIVAじもと!! 勉強になります。

◎弘前市「ねぶた」 ◎青森市「ねぶた」

アイデムカップ 公式ホームページ

MOVIE 配信!!

法政大学 ひびき フランスフレンズ